



<チョイソコと教育支援>

- ・学校の統廃合や、部活動の地域活動への移行に伴い、学生の利用ニーズが高くなっている。

現状では、公共交通としての予算の制約や地域のタクシー等、既存交通事業者との役割分担で、チョイソコでの学生送迎は、夕刻までと設定する事例もある。その場合、例えば、中高生の授業や部活動の関係で、小学生のみの利用となってしまう可能性が高い。

教育支援の1つとしてデマンド交通を認めて頂き、公共交通と教育支援の予算を統合的に活用できれば、既存交通と共創し、中高生も含めた幅広い教育に伴う移動支援の展開が可能と考える。

<チョイソコと福祉>

- ・交通手段としてのチョイソコで、介護施設への送迎と統合が出来れば、より効率的な相乗り輸送が可能となる。費用的にも、福祉予算の活用が可能となれば、より持続的な事業性が確保され、継続した提供ができると考える。

運転免許や介護認可などの制度を柔軟に適用可能にする為の整理、検討を進めて頂きたい。

- ・チョイソコは、高齢者の移動手段に留まらず、お出かけの機会、即ち、“移動の目的”となるイベント（体操教室など）を、移動手段とセットで提供することができる。そして、健康増進という未然防止の切り口で、高齢者のフレイル予防と共に、お出掛けに伴う賑わいや経済活動で、地域の活性化にも貢献していきたいと考えている。

これらを実現していく為に、より価値の高い公共サービスとする為の支援、例えば、福祉分野と連携しやすい補助金拡充の可能性を検討して頂くことで、介護保険の制度を持続可能にする意味でも貢献できると考える。

§ AIオンデマンド交通を軸とした共創の方向性について（2）

<チョイソコと物流、特に農産物>

- ・道の駅などの産地直送の場に、少量の農産物を運ぶ手段として、デマンド交通を活用したいという要望を頂く事もある。ただし、運ぶものは少量ということもあり、安く・早く・簡易に、とのニーズもセットである。
- ・チョイソコを活用し、特に、少量の農産物を細かく運んで、消費者の皆様にご買って頂くことで、経済活動含めて、地域への幅広い貢献が可能になると考えている。貨客混載の可能性も含めて、実証実験での効果確認と、それに基づく社会実装を進めたいと検討しているが、こういった地域で、こういったモノを運ぶことに事業性を含めた検証の意義があるか等、全国の事例を含めて、ご指導を頂きたい。

<チョイソコの交通安全・環境問題への貢献>

- ・チョイソコは、公共交通が行き届かない地域で、免許返納後の高齢者の移動手段を提供している。高齢者の交通手段の一翼を担うことで、免許返納の促進や、そもそもの運転の必要性を無くしており、交通事故の未然防止に、微力ながら寄与していると考えている。
- ・チョイソコは、予約が無いと車を走らせない、また、複数の方が同じ車に相乗りする前提である。無駄の少ない移動手段という観点で効率的であり、環境問題にも寄与している。加えて、BEVやFC等の電動車の活用で、一層の貢献が可能であり、交通安全、環境問題への寄与という趣旨で、財政面の支援も検討して頂きたい。